

# 広げよう、卒業後の学びの場を 大阪にも！

障がいのある子どもたちは、一つのことを習得するのにとても時間がかかります。それなのに学校で学べるのは18歳まで。現在、支援学校高等部卒業後の一般的な進路は、一般就労か作業所に行くかです。そうではなく、仲間がいて、わいわい一緒に学ぶことができる、生活体験をよりゆたかに積み、ゆっくりと自分発見をする、楽しく青春する時間がある、そんな「学びの場」が「ぼぼろスクエア」です。

将来、支援学校高等部に、専攻科が設置され、青年期のゆたかな教育を実現することが大きな願いです。

## ぼぼろスクエアの利用案内

- 事業内容：自立訓練事業（生活訓練）
- 定員：20名
- 対象：知的障がい  
精神障がい（発達障がいを含む）
- 利用期間：2年間
- 利用料：法律に準じる  
（本人非課税・生活保護は無料）
- 実費負担あり  
（教材費、宿泊、社会見学、研修旅行等）
- 希望者には近隣作業所の配食あり  
（実費負担）



「ぼぼろスクエア」で大切にしたいこと

- ゆったりとした環境のなかで“楽しい”を第一にする。
- 楽しみや悲しみを共にし、人とつながる。
- 自分くずし、自分づくりを経て、新しい自分を築く。



「ぼぼろスクエア」の特色

- ★ 性教育を通じて、自尊感情を高め、自分が大切な存在であること、自分以外の人も大切な存在であることを知る。
- ★ 理科や科学の学びを通じて、科学的な考え方や見方を大切にしていく。
- ★ 大阪発達支援センターぼぼろが行なっているヤングクラスの青年たちなどとのつながりを大切にしてい、人間関係を広げていく。



学びの柱

- 1 自己表現の力を高める**  
いろいろな場を利用して表現し、充実感や達成感を得る。  
話す・書く・音楽・絵・ダンス・書道・劇等
- 2 生活する力をつける**  
衣食住及びコミュニケーション等の基礎的な力を身につける。  
料理・洗濯・掃除・健康管理・計算・買い物・税金等
- 3 自分で考え、自分で決める**  
日常生活や身近な体験を通じて、主体的に学ぶ。  
行事の企画・運営・反省をし、次の行事に生かす。  
“失敗”をおそれず、次の経験に生かす。
- 4 自分を知る**  
自己肯定感を高め、相談する力を養う。  
障がい・性・からだ・成長・得意なこと等
- 5 自分らしく生きる進路を考える**  
仕事・障害者手帳・基礎年金・福祉の制度・各種手続き等
- 6 余暇の活動を豊かにする**  
スポーツ・旅行・趣味のサークル・野菜作り・ものづくり等

## ぼぼろスクエア時間割

	月	火	水	木	金	土(月1回)
9:30～10:00	朝のミーティング	朝のミーティング	朝のミーティング	朝のミーティング	朝のミーティング	朝のミーティング
10:00～11:45	クラスゼミ	パソコン 農業 音楽	社会見学計画 調理実習計画 調理実習	二週交代 テーマ研究 こころとからだの学習	二週交代 グッドライフ クラスゼミ	余暇活動 (ヤングクラス) ・調理
11:45～13:15	昼食・昼休み	昼食・昼休み	昼食・昼休み	昼食・昼休み	昼食・昼休み	昼食・昼休み
13:15～15:00	科学 表現	ものづくり (コース制) ①紙すき ②木工 ③しぼり染め ④ハンドメイド 自治会	社会見学計画 調理実習計画 調理実習	月2回 スポーツ・ゲーム 演劇	月2回 ダンス 社交ダンス	余暇活動 (ヤングクラス) ・スポーツ ・音楽 ・自主活動
15:00～15:30	そうじ・終わりのミーティング	そうじ・終わりのミーティング	そうじ・終わりのミーティング	そうじ・終わりのミーティング	14:30～ そうじ・終わりのミーティング	そうじ・ 終わりのミーティング
					15:30～17:00 サークル活動	



話しあい



居酒屋体験